

放牧による黒毛和種長期不受胎牛の受胎促進

畜産技術センター礎高原牧場

要旨

農家にとって経済的な損失が大きい長期不受胎牛を、放牧し受胎プログラムに従い人工授精を行ったところ、受胎が促進された。

成果の概要

京都府内の繁殖農家が所有する放牧未経験の長期不受胎牛26頭を、5月中旬から11月下旬まで放牧し、図1のプログラムに従い人工授精を実施した。

- ① 長期不受胎牛の受胎促進
長期不受胎牛26頭中、17頭が受胎し受胎率は65.4%であり、放牧により受胎が促進された(表1、2)。
- ② 放牧と体重の推移
受胎牛の体重は開始後、緩やかに増加したのに対して、不受胎牛は、増加した体重が一時減少し、再び増加する傾向にあったことから、体重の減少を抑制することが、受胎の促進につながると考えられた(図2)。
- ③ 放牧と血液性状
受胎・不受胎にかかわらず、Ht値、Alb、Glu、TCHOは開始後、低下し回復する傾向となり、TP、BUN、GOTは放牧によって増減しながら正常値範囲内に収束する傾向であった。

表1 繁殖障害別受胎成績

繁殖障害	経産牛					未經産牛		
	頭数(頭)	年齢(歳)	産歴(産)	最終分娩後日数(日)	放牧前AI回数(回)	頭数(頭)	月齢(か月)	放牧前AI回数(回)
リピートブリーダー	6	7.0 ± 2.0	4.0 ± 1.5	409 ± 136	4.5 ± 2.7	4	25.6 ± 3.1	7.3 ± 3.6
鈍性発情	14	7.0 ± 3.5	4.1 ± 2.7	320 ± 110	1.7 ± 1.2	1	21.3	1.0
卵胞嚢腫	1	11.0	5.0	338	5.0			
合計・平均	21	7.2 ± 3.1	4.1 ± 2.3	346 ± 119	2.4 ± 2.2	5	24.7 ± 3.3	6.0 ± 4.2

表2 繁殖障害別のAI及び受胎状況

繁殖障害の内容	頭数(頭)	初回AIまでの日数(日)	受胎頭数(頭)			受胎率(%)	受胎牛のAI回数(回)	受胎までの日数(日)	不受胎牛のAI回数(回)
			自然	定時	計				
リピートブリーダー	10	46.3±32.7	4	1	5	50	1.4±0.5	57.6±59.1	3.6±0.5
鈍性発情	15	59.3±29.1	9	3	12	80	1.8±0.9	83.2±50.6	2.0±0
卵胞嚢腫	1	46	0	0	0	0	-	-	3.0
合計・平均	26	53.8±30.1	13	4	17	65.4	1.6±0.8	75.6±52.7	3.0±0.9

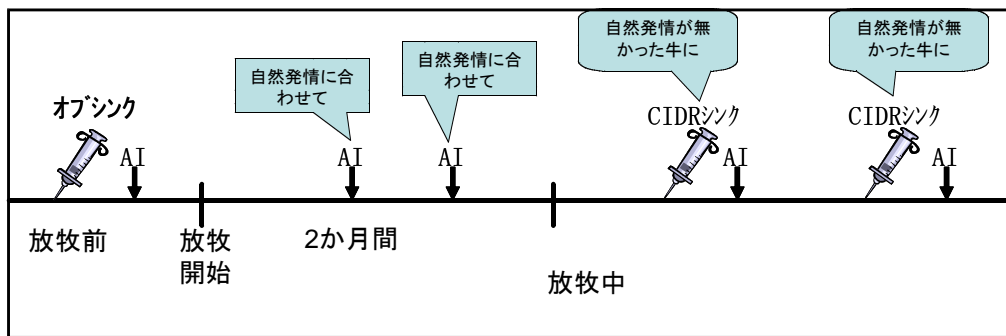


図1 放牧における受胎プログラム

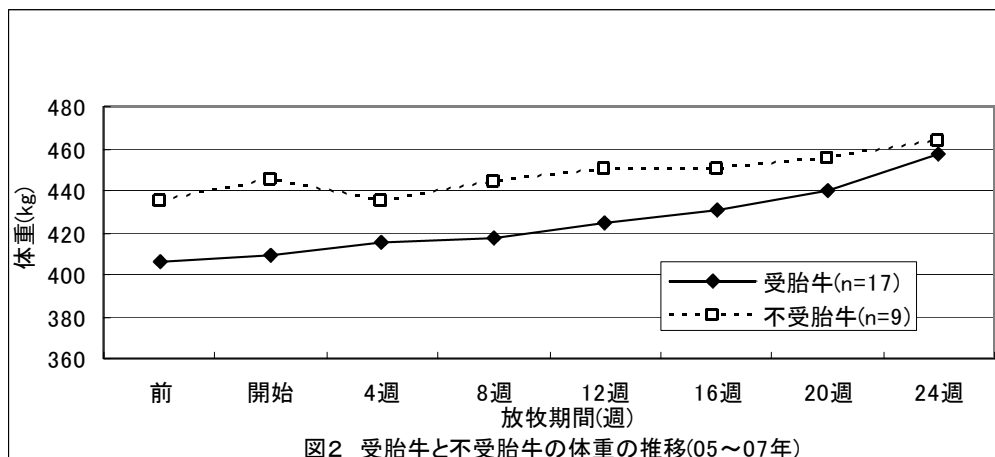


図2 受胎牛と不受胎牛の体重の推移(05~07年)